ドレスデン国立古典絵画館所蔵

フェルメールと17世紀オランダ絵画展

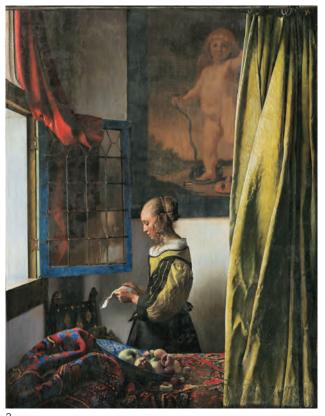
2022年7月16日(土)-9月25日(日)

本展の注目作品である17世紀のオランダ絵画の巨匠ヨ ハネス・フェルメールの《窓辺で手紙を読む女》は、窓から 差し込む光の表現、室内で手紙を読む女性像など、フェル メールが自身のスタイルを確立したといわれる初期の傑 作です。本作品は、1979年のX線調査で壁面にキューピッ ドの描かれた画中画が塗り潰されていることが判明し、 長年、その絵はフェルメール自身が消したと考えられて きました。しかし、2017年の調査により、フェルメール以 外の人物により消されたことが新たに分かり、翌年から 画中画の上塗り層を取り除く修復が開始されました。 2019年5月には、キューピッドの画中画が部分的に現れた 修復途中の作品が、記者発表にて公開されました。

本展では、この修復過程を紹介する資料とともに、大規 模な修復プロジェクトによってキューピッドが完全に姿 を現した《窓辺で手紙を読む女》の当初の姿を、所蔵館で あるドレスデン国立古典絵画館のお披露目に次いで公開 します。所蔵館以外では世界初公開となります。

また、ドレスデン国立古典絵画館が所蔵するレンブラ ント、メツー、ファン・ライスダールなど、17世紀オラン ダ絵画の黄金期を彩る珠玉の名品約70点もあわせてご紹 介します。





- ヨハネス・フェルメール《窓辺で手紙を読む女》(修復前) 1657-59年頃 ドレスデン国立古典絵画館 © Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden, Photo by Herbert Boswank (2015)
- 2 ヨハネス・フェルメール《窓辺で手紙を読む女》(修復後) 1657-59年頃 ドレスデン国立古典絵画館 © Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden, Photo by Wolfgang Kreische
- ドレスデン国立古典絵画館 © SKD, photo: Kreische/Boswank

